

令和2年8月7日（金）

令和2年度第一学期終業式講話

校長 内田

- 8月7日の終業式というのは、40年近く教員をやって来ましたが、初めてのことです。
- 今学期は、例年通りというのが、すべて失われた中での学校生活となりました。
- 3ヶ月もの間、学校に行けなくなるなんてことは、思ってもみなかったことです。修学旅行や林間学校、体育祭などもなくなってしまうとは思ってもよらなかったことです。
- 今は、当たり前と思っていた日常が、日常ではなくなるという現実を体験しているところです。
- ですから逆に、当たり前のことを、当たり前にできることの有難みが身に沁みます。
- 様々な制限と制約の中での生活はとても苦しいものですが、少なくとも毎日学校に来て、みんなと一緒に学習や運動ができることを「ありがたい」と感謝して、その時間を大切にしていってほしいと思います。
- 振り返ってみると目まぐるしい1学期でした。在宅で生活のリズムを崩さぬように努力しながら、ネットやメールに掲載される課題に取り組んだ3ヶ月。かなり緊張して気を使いながら交代で行った分散登校の2週間。やっとみんなでそろって学校生活が始まったけれど、マスクや3密回避、換気や消毒など様々な対策の中で進めた新しい生活様式での2ヶ月間。
- そのような中でも、柏中の皆さんは、慌てたり混乱したり、投げやりになったりすることなく、しっかりと現実を受け止めて、一人一人がやるべきことを理解しながら、「新しい日常」に取り組んでくれました。とても立派だったと思っています。
- 1年生はすっかり中学生らしくなりました。2年生はこれから多くのことを3年生から引継ぎますが、ずいぶんと逞しくなりました。3年生は夏の総体や修学旅行など大きなものを失いながらも、腐らず目の前のことをきちんと取り組める姿は素晴らしいとしか言いようがありません。
- これからも、学校生活があることに感謝し、できないことを嘆くよりも、できることを一生懸命に取り組み、目の前の些細なことでも、大きな意味のあるものにしていく努力を重ねていきましょう。
- 明日から短い短い夏休みに入ります。あっという間だと思います。これまで以上に計画を大事にして、健康に気を配った生活を送ってください。
- 8月24日、元気に会いましょう。

【保護者の皆様へ】

今学期は保護者の皆様へのご負担を多々おかけした上に、毎日の検温や健康観察記録等にご協力いただきまして誠にありがとうございました。まだまだ新型コロナ対策は予断を許さない状況が続きますが、一層の連携を深めながら、日々の学校生活の充実に力を尽くしてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。